

令和7年度佐賀県環境センター出前講座 水生生物調査の概要

1 準備

(1) 調査地点の川の選定・確認

以下の条件を満たす、危険の少ない川があることが必要なので、貴校の先生の方で現場の確認をお願いします。

- ・安全に降りられる
- ・川底にこぶし大や頭大の石がある
- ・水深が10cm～30cm
- ・水の流れが緩やか（流れがないのは適さない。）

また、前日及び前々日の天候によっては、水位が上がっていたり、流れが速かったり危険な可能性がありますので、当日の状況確認もお願いします。

(2) 児童の準備

動きやすく濡れてもよい服装、濡れてもよい靴（サンダル不可）、帽子、タオル、飲み物、筆記用具、探検バッグ

(3) その他

実験器具、配布資料、ホワイトボードその他必要なものは全て環境センターで準備します。

2 講座時間

1 講義当たり 2 コマ（90分程度） が必要です。

3 講座場所

最初に学校又は調査地点の川に集合し、説明を行った後、川に入って生物採取を行います。

生物採取後の生物の分類は、調査地点の川が学校から徒歩10分程度の場合は学校へ戻り、班ごとに活動ができて水に濡れても良い場所（理科室、家庭科室、ピロティ等）で行います。調査地点の川が学校から遠い場合は川の付近の日影がある場所で行います。

4 班分け（例）

あらかじめ、班分け（1班4～6人程度）をお願いします。

なお、班ごとに貴校の先生又は環境センターの職員を1人配置する体制を想定しています。当日、環境センターの職員は、2～3名で訪問する予定です。

5 進行（例）

（１）生物採取方法の説明【10分】

水生生物調査の概要、生物の集め方、注意事項の説明。

（２）生物採取、水温・川幅・流速測定【20分】

班に分かれて川に入り生物を採取する。

数名の児童とともに水温・川幅・流速を測定する。

（３）生物の分類の説明【５分】

生物の分類方法、見分け方の説明。

（４）生物分類【20分】

班ごとに集めた生物を分類する。

（５）生物の調査結果の集計【10分】

分類した各生物の数を数え、記録用紙に記入する。

（６）水質判定、まとめ、片付け【15分】

集計結果から川の水質を判定する。結果や感想を発表する。

※ 適宜休憩を入れますが、児童の安全確保及び熱中症予防は貴校の先生の方で声掛けをお願いいたします。